幼児だより　12月号

うみグループ　サツマイモピザ

そらグループ　スイートポテト

収穫感謝礼拝

10 月の芋ほり遠足で収穫したサツマイモを使って、そらグループはスイートポテト、うみグループはサツマイモピザを作って食べました。 自分たちで作った料理は格別で「あまーい、おいしい！」と大喜びでした。
収穫感謝礼拝では、たくさんの収穫物を持ってきていただきありがとうございました。 まずは野菜や果物を飾ってお礼拝。 神さまに「おいしい食べ物をくれてありがとう」とお祈りしました。その後には持ってきた野菜・果物で給食・おやつ作りのお手伝いをしました。 秋の恵みを見て・触って・分かち合って味わう日になりました。

三田市にある人と自然の博物館(通称：ひとはく)から、職員さんが保育園に遊びに来てくれました。
まずはどんぐりを観察。どんぐりでも色や形、大きさが少しずつ違うことに気付く子もいました。どんぐり転がしのおもちゃでは、綺麗な音を聞きたくて耳を澄ませたり、お友達と協力して転がしたり、強めに転がしてみたりと工夫して遊ぶ姿もありました。最後はみんなでどんぐり体操。どんぐりが大きな木になるまでのストーリーを体いっぱい使って表現しました！

職員紹介

11月から幼児クラスの補助を担当しています。

〇名前：窪田（くぼた） 和加奈（わかな）

〇趣味：パラグライダー

どうぞよろしくお願いします

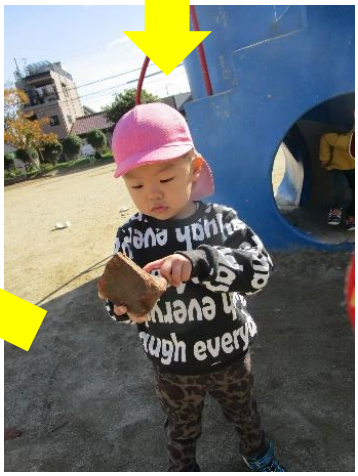
ぼくの発見！！

公園へお散歩に行った日。遊んでいたＳくんは、石を見つけると嬉しそうに知らせに来ました。

先生、見て！！
石見つけてん！

これが小さいやつで

これが大きいやつやねん！



こっちよりこっちの方が大きいねん！

らっこぐみのＳくん。この年齢になってくると、物の大きい小さいや数の多い少ないの概念がわかるようになります。
Ｓくんは、ただ石を見て『大きい』『小さい』を言っていたわけではなく、2つの石を比べてＡはＢよりも大きいんだと分かって知らせてくれていました！！

さらにＳくんの発見は続きます！

大きい石に小さい石でかきかき！

！？！？！？

え！先生、見て！！！！
書けたんやけど！！

Ｓくんは、思いもかけず石で書けたことにびっくり！！「え、何で！？」「書けたんやけど！」「ボールペンちゃうのに！！」「掘れてるんちゃう！？」と、興奮していました。石で何かが書けるということは、大人にとってはこれまで経験してきたことのある何気ないことですがＳくんにとっては初めての経験でとても大きな発見だったことでしょう！
Ｓくんは嬉しくてお友達や他の先生にも知らせていました。このような日常の中にある何気ないようなことが子どもにとっては大きな発見で、それをたくさん積み重ねていくことでその子の遊びや学びが深まっていくのでしょうね。

不思議がることの大切さ

だんだんと日が短くなってきて、冬が来たなぁと感じられるようになりましたね。
夕方、園庭に遊びに出て来たＲくん。ドアを出るなり公園の木の方を指さして、
「あっ、テレビ　ないよー。」とびっくりした様子でつぶやいています。

Ｒくんに「どこにテレビがあるの？」と聞くと、Ｒくんは今度はガラス戸の内側に入って「ここ」と指さしして教えてくれました。

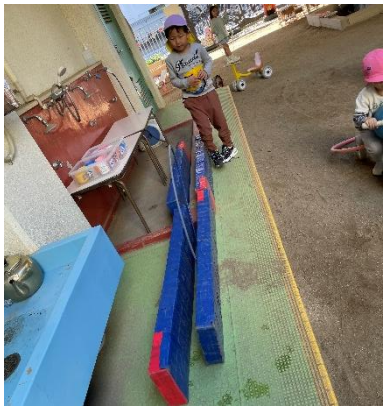
Ｒくんと同じ視点で見てみると、つぶやきの訳が分かりました。廊下のモニターがガラス戸に映っていて、木の上にテレビがあるようにも見えます。
Ｒくんはその後も何度かガラス戸の内と外を行ったり来たりして、テレビがある/テレビがないという状況を楽しんでいました。

大人はすぐにガラスにモニターが映っているだけで、実際に外にあるわけではないと分かりますが、Ｒくんはガラスに映ったモニターと外の木の両方を同時に見て、「外の木にテレビ(モニター)がある」と思っていたので外に出てモニターがないのに気づいてびっくりしたのでしょう。
そして、何度かガラス戸の内と外を出入りするうちに「映っている」ということに気づいたのかもしれません。

この「不思議がる」という経験は学びのきっかけです。Ｒくんのように「あれっ？」と思ったことを確かめることで、子どもたちは子どもなりの視点でその仕組みに自ら気づき、経験として深く長く残っていきます。そして、いつかこの仕組みを学校の学習として学んだ時に経験は知識として結びついていくそうです。

思わず「これは木にテレビがあるんじゃなくて、ガラスに映ってるんだよ」と言ってしまいたくなりますが、子どもが不思議に思ったことを十分に「どうしてだろう？」と思い巡らせられるように見守っていきたいと思います。

まっすぐ転がしたい



フラフープを転がして遊ぶことにハマっているＭくん。まっすぐ転がしたいけど難しくて曲がってしまうことに気付いたＭくんは考えてまっすぐ転がす為の壁を作りました。
これがあったらまっすぐ転がることに気付いたＭくんは遊びにルールを加えて行きます！

まずは道を
作り変えて

次にルールを友だちに伝えます。
「この赤い丸の所までフラフープがきたら１００点」と点数制のルールのある遊びになりました。

そこは
１点だね

見て！
僕１００点の所
届いた！！！

僕は１００点
と１点で。。。

僕は１００点
と４点で
１０４点★
Ｊくんは？

１０１点！

最初は転がすだけの遊びだったのですが
発展して転がした距離に合わせて点数がつく
遊びになりました。
最近は自分達でルールを作って遊ぶ姿が増えてきました。オリジナルルールいっぱいの遊びが本当に面白くて子ども達の発想の豊かさに驚かされます。そして、遊びの中で数が出てきて計算し気付かないうちに計算を学んでいたり、角度を考えて転がしてみたり、『遊びは学び』だと改めて感じました！そんな子ども達の気づき・発見を大切にしていきたいです。

木の実でするコマ遊び

「先生、見てコマ！！！」と声を掛けてくれたのはＨくん
外でコマ？と思って振り返ると木の実をコマにして遊んでいました。
不思議に思って
「なんで回るんだろうね？」と尋ねるとＨくんが教えてくれました。

（木の実を指さし）
この、先っぽで
まわるねんで

これは、
ないから回らへん

２つの違いはなんてんの茎が実に残っているかいないかです★

私は知らず知らずのうちに頭の中で勝手に外だから、
室内だからと出来る遊びを決めつけて考えていました。
つまりコマ遊びは室内遊びだと、、、。
Ｈくんの発見を見て、気になったくじらのＨちゃんとＭくんも自分達で木の実を探し３人でコマ回し大会を始めていました。
保育士が提供しなくても自分で素材を見つけ
遊びに取り入れることができるＨくんの発想力が
とても凄いと思います。
子ども達と同じ目線に立って、何でも遊びに変えて
いけるともっと毎日が楽しくなる！と感じました
私も面白い楽しそうを子ども達と探したり
子どもの気づきを受け入れたり、子どもの発見を
しっかり共感できる保育士になりたいと思いました。